

チームのこぎり山

〈誰が〉 〈誰に〉 〈なにを〉 〈どうやって〉 〈メリット〉 〈デメリット〉

民間

不登校の子どもたち

子どもたち(不登校)を集めて

遊びのこぎり山 探検 社会体験

災害時に教室があ 住民使用可

市

一般の人

運動場をかす

スポーツ 野外体験 キャンプ場

市の収入源

ゴミ清そう

民間

一般の人

民間が考えて自由に場所を活用してほしい

スポーツ 体験教室

近くでみんなが集まれる場所

住民が地元を好きになる誘い

高齢者子育て世代

スポーツ フェスタ

住民のために

施設所有者

住民に

グラウンドを公園として扱

遊具 ベンチの設置

現在市内に公園が少ないため跡地を遊び場にしたい

子どもの遊び場確保

子育て世代の流出防ぐ

一般の人

テレワークリモートワークの場

移住者の呼びこみ

人口・子育て世代の増加

〈実現に必要なこと〉 〈実現に向けた課題〉

企業への呼びかけ

募集

ネット

あらかじめ条件決めておく

災害時に遊技場として使用

施設の管理

草刈り

専門家への相談

タイアップ コラボ

教室の間隔

4月10月 地元で行う

住民のまよひ

20~30年後をみずえる

施設を一度取りこわし、再建

年に2回は市が行う

視察

住民投票

住民の考えをよく聞く

第2班

「誰が」

→ 市と地元が中心に

・ 使用している事を地元が知らない

・ きちんと管理できる人を探す

「誰に」

→ 地元の人

みんなが誰でも安心して来られる町

→ 一般の方(観光客)

・ 管理するための、市と地元と事業者の
会合を定期的に行う

・ 地域の人への周知

「何を」

→ 金谷小学校の旧跡地を
そのまま利用して

道がせまい

道を広げる、高架橋・地下道と
作る

「どうやって」

→ 地元の人が集える場所として
(コミュニティセンターや保育園など)

→ 子供とお年寄りと一緒に遊べる場所

→ 利益をうけのための観光客をターゲットに
施設として

・ ルールを明確にする事
(利用者がルールを守れるか?)

・ 利益を出すための運営

誰が	誰に対して	何を	どうやって
市	市民	<ul style="list-style-type: none"> ○ コミュニティセンター機能 ○ 保育所運営 ○ 災害対応 	(税) 市役所 指定管理
事業者	市民	体育館 (災害時は避難所として利用) <ul style="list-style-type: none"> ○ スポッツセンター運営 ○ イベント利用 	事業者 に 委託
	市外の方	校庭 <ul style="list-style-type: none"> ○ 観光客用の駐車場 ○ 市民農園 ○ グランピング ○ 一部市民の憩いの場として活用(公園) 	
	一般	校舎 <ul style="list-style-type: none"> ○ 簡易宿泊施設 ○ コワーキングスペース ○ フリースクール 	やりぬく 金谷小 班

実現に向けた課題・必要のこと

○ 「売却」は課題大

- 数年後に事業破綻した時の対応
- 住民の意向に反する行為

○ 基本的に「賃貸」をベースとし

市と市民が一体となって事業を育成し見守る!